

# 平成29年度事業報告

## 1 児童虐待防止シンポジウム開催事業

平成29年度は、2つのシンポジウムを開催した。一つは、「司法の関与」をテーマにしたシンポジウム。もう一つは、昨年度に続き「メンタルヘルス問題をもつ親のもとで生活する子どもへの支援」をテーマに開催したシンポジウムである。「司法の関与」をテーマとしたシンポジウムでは、6月に改正された児童福祉法の内容や改正に至る経緯などについて報告がなされた後、その報告を下にディスカッションが行われ、運用上の留意点や今後に向けた課題出しが行われた。メンタルヘルス問題をテーマとしたシンポジウムでは、児童相談所や自治体関係者の参加が多くあったが、日々の業務で直面する困難さや課題について踏み込んだ議論が行われ、78%の方々から大変に満足、ほぼ満足との回答があった。

### ◆ 第26回シンポジウム

- テーマ : 2017年改正 児童福祉法について一児童虐待対応における司法関与を中心にー
- 日時・会場 : 平成29年9月3日 文京区シビックセンタースカイホール
- 参加者 : 約90名
- 内容 : 基調講演・シンポジウム



### ◆ 第27回シンポジウム

- テーマ : メンタルヘルス問題をもつ親のもとで生活する子どもへの支援
- 日時・会場 : 平成30年2月4日 TKP新橋カンファレンスセンター
- 参加者 : 約150名
- 内容 : 基調講演・シンポジウム

## 2 児童虐待防止啓発活動事業

子ども虐待防止に対する意識の向上と虐待の予防、早期発見・対応の充実を図るために、オレンジリボンフォーラムの開催、オレンジリボンの配布活動、支援団体とのイベントの共催、ポスターコンテスト、鎮魂集会の実施、ホームページの活用等、オレンジリボン運動の普及啓発活動を幅広く行った。

### ◆ 第5回 オレンジリボンフォーラム

ステージでは、タレントのはしのえみさんによる子育てトークショー、リトミックを取り入れたキッズコンサートなど、親と子が楽しめるプログラムやその他にオレンジリボン運動の報告、足立区を支える子育て団体によるリレートークも行われた。ホワイエでは、支援団体・企業のブースを設け、来場した親子に楽しい時間を過ごしていただき、息抜きの場を提供する等、このフォーラムを通して「子どもと子育てにやさしい社会」、「子ども虐待のない社会」の実現につながるような場となった。

- 日時・会場 : 平成29年6月3日(土) ギャラクシティ(西新井文化ホール)
- 参加者 : 約1,700名
- 内容 : 子育てトークショー、おやこライブ、ポスターコンテスト表彰式、子ども虐待防止のトークセッション、支援企業・団体によるブース出展他



### ◆ ポスターコンテスト事業

一般市民への啓発を目的に、全国から子ども虐待防止のポスターのデザインを募集し、オレンジリボン運動のポスターを作成した。また、参加団体・企業と共にオレンジリボン運動ポスター約10,000枚を掲出した。

- 実施時期 : 募集…11月～3月、選考4月、表彰…6月
- 内容 : 最優秀賞10万円を1名、優秀賞3万円を2名、ユース賞1名、特別賞、企業賞を設定し、美術系の専門学校・大学・高校等を中心に広く応募を呼び掛けた。応募総数328作品の中から各賞が選定され、6/25に開催された情報交換会内で受賞者の表彰を行った。1次審査通過者には記念としてオレンジリボングッズを贈呈した。
- 選考したデザインよりポスターを作成し、関係機関等に配布・活用を通じて虐待防止の啓発につなげた。



<最優秀賞>



<優秀賞>



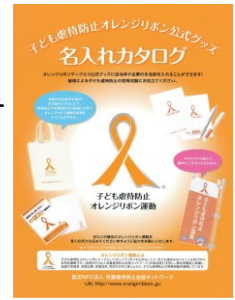
<優秀賞>



<ユース賞>

◆ グッズ作成・配布

児童相談所共通ダイヤル「189」啓発グッズおよび従来からのオレンジリボングッズを作成し、啓発した。特にハンカチタオルやボールペンの注文が多く、新しいグッズが好まれる傾向となった。また、組織の名称が入られるのぼり旗の注文も多く、11月のオレンジリボン啓発活動を視覚的にアピールするアイテムとして広く活用された。リボンバッジの頒布にも力を入れたが、効果は限定的であった。啓発ツールとして、チラシ、ポスター、布リボン、啓発冊子、マスク等を作成・配布し、啓発を行った。



＜主なグッズ頒布数推移＞

グッズ	28年度	29年度
オレンジリボンバッジ	11,953	11,080
名刺用(啓発シール)	393	488
マグネット	249	309
今治ハンカチタオル	959	1,660
クリアファイル	2,616	3,367
Tシャツ	715	596
ボールペン	1,835	2,761



◆ 春のオレンジリボンキャンペーン

児童福祉週間(5月)を中心にオレンジリボンを付けようと呼びかけた。個人サポーター(約14,000人)へオレンジリボンポスター掲出のお願いをし、ポスター500枚と布リボン5000個を提供した。また、ホームページにてオレンジリボンの着用を呼びかけ、11月の虐待防止月間のみならず市民の参加意識を高められるよう児童虐待防止の啓発をした。

- 実施時期 : 平成29年4月中旬～5月末日
- 内容 : 個人サポーターを中心に、オレンジリボン着用、ポスター掲出の呼びかけ等、広報啓発活動を実施した。

◆ 全国一斉オレンジリボン街頭配布

児童虐待防止月間の主催イベントとして、全国各地で支援企業/団体の協力による啓発ツールの配布等、オレンジリボン運動の啓発活動を行った。

- 実施時期 : 平成29年11月3日(金・祝)を中心にその前後で実施。
- 内容 : 駅前等の公共の場所やイベント会場等、人の集まる場所を中心にマスク21万枚、布リボン7千個、チラシ7.8万枚を配布するとともに、のぼり旗やポスター700枚の掲出、声かけなどで児童虐待防止について啓発・呼び掛けを行った。
- 一斉配布協力企業・団体数: 89企業・団体



オレンジリボン事務局(本体)による対応

- 実施日 : 平成29年11月3日(金・祝)
- 実施場所: 東京都豊島区 池袋サンシャイン通り
- 内容 : 豊島区の協力の下、ボランティアと一緒にオレンジリボンTシャツを着用し、マスク14,000枚を配布、のぼり等を立て休日の大勢の人が行きかう中、オレンジリボンの啓発を行った。

◆ 鎮魂集会事業

児童虐待によって失われた子どもの命を悼み、児童虐待防止を啓発することを目的に鎮魂集会および鎮魂の行進を行った。

- 日時・会場 : 平成29年11月19日(日) 銀座プロッサム中央会館
- 参加者 : 約450名
- 内容 : 第15回子どもの虐待死を悼み 命を讃える市民集会  
 第1部: 虐待死した子どもの名前が読み上げられ、参加者全員で黙祷を捧げた。  
 第2部: 講演「子どもの生きる力を守る」 荘保共子(しょうほともこ)氏  
 第3部: 子ども虐待防止を訴える「鎮魂の行進」 銀座プロッサムをスタートして、外堀通りの数寄屋橋交差点などを通り、日比谷公会堂までを子ども虐待のない社会づくりをアピールし、行進した。



◆ 学生によるオレンジリボン啓発活動

厚生労働省や関係機関の協力の下、「学生によるオレンジリボン運動」について、保育士養成校など全国にある大学等に呼びかけ、全国57校からの参加登録があった。登録校には啓発ツール一式をサンプルとして提供した。また、昨年に引き続き、全国大会(報告会)を開催し、参加登録校の中から5校が発表を行い、2校が観覧した。

- 日時・会場：平成30年2月18日(日) 東京体育館/会議室
- 参加者：約40名
- 内容：「学生によるオレンジリボン運動全国大会」  
大学等で実施したオレンジリボン運動の活動内容や今後の取り組みについて学生ならではの工夫をこらしたプレゼンテーションが行われた。  
厚労省、東京都、支援企業より審査員として参加いただき、オレンジリボン大賞、厚労省虐待防止対策推進室・室長賞、敢闘賞を決定し表彰を行った。



◆ オレンジリボン情報交換会

主に支援企業・団体、個人サポーターを対象に、オレンジリボン運動に携わる者同士の交流を目的とした情報交換会を行った。

- 日時・会場：平成29年6月25日(日) TKPガーデンシティ竹橋
- 参加者：約40名
- 内容：「オレンジリボン運動 情報交換会」  
社会貢献活動をテーマとした、萩原なつ子氏の講演、その他にオレンジリボン運動の認知度と効果についての情報を共有した。また、会の後半は、参加者同士が交流できる時間を設け、意見交換の場とし、今後の活動の推進を図った。

3 目的を同じくする団体との連携事業

◆ イベント等共催事業

支援団体と協力して児童虐待防止の啓発を行った。平成29年度は全国12団体の協力を得て啓発活動を行った。

- 実施時期：平成29年度中
- 内容：企画・広報等の支援をすると共に開催費用を一部負担するなどし、全国各地の支援団体と共催でイベント等の啓発活動を実施した。

支援団体名	啓発内容
CFRびわこ	びわ湖一周オレンジリボンたすきリレー
子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー全国ネットワーク	各地のたすきリレー情報公開事業
赤穂市地域活動連絡協議会	あこうオレンジリボンキャンペーン2017ふれあい広場
特定非営利活動法人 子育てパレット	児童虐待防止のための心と食の支援を〜フードドライブ、フードバンク
オレンジゴスペル実行委員会	オレンジゴスペル全国ツアー2017
NPO法人 子どもの虐待防止ネットワークかがわ	かがわ育児の日フェスティバル オレンジリボンキャンペーン
一般社団法人 ソーシャル・アーティスト・ネットワーク	オレンジリボンコンサートvol.2 かーくんで拡げよう!
子どもの幸せを願うネットワーク こども幸せねっと	知多市福祉フェスティバル
特定非営利活動法人 和歌山子どもの虐待防止協会	オレンジリボンフェスタ2017
Gospel Wing Fellowship Choir	オレンジゴスペル全国ツアー2017in群馬 歌も子育てもみんなで!
NPO法人全国福祉未来ネットワーク	未来を担う若者会議
NPO法人 児童虐待防止協会	映画上映会、ワークショップ

◆ 日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)との連携

平成29年12月2日～3日に千葉県で開催された「第23回学術集会ちば大会」で、資料配布用のオレンジリボン不織布バッグを提供し協力した。

【参考】

◆ 子ども虐待防止のための講演、研修および取材

<新聞、TV、雑誌の取材>

日付	媒体	タイトル	内容
5月22日	スーモジャーナル	近所の家から子どもの激しい泣き声。これって虐待?...	高祖理事コメント掲載
10月28日	読売新聞	「教育虐待 気づかぬ親」勉強強制子どもにストレス	吉田理事長コメント掲載
11月19日	TBS NEWS	東京・銀座で児童虐待防止を訴え大規模行進	11/19鎮魂集会開催記事
3月29日	読売新聞	孤立し余裕失う母親	高祖理事コメント掲載
複数号にて	東遊商「Toyusho」	オレンジリボン運動	オレンジリボン関連記事

<講演会・研修会等への講師派遣>

日付	内容
5月12日	「児童虐待防止法制定の意義と課題」自由民主党 虐待等に関する特命委員会
5月26日	「児童虐待対応における司法関与の在り方について」衆議院社会労働委員会
6月24日	「子ども―親―社会的養護(シンポジウム)」全国養護問題研究会
7月26日	「2016年児童福祉法等改正と市町村の役割」志木市子ども家庭課